夕刊 磐城新聞
六月九日發行
定價 一部 金五錢 一ヶ月 金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金 五行十二字詰一行一回
編輯印刷兼發行人 福島縣石城郡平町 田町十六番地
發行所 磐城新聞社 平局私書函第十二號 電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

景氣循環の理論

シユンペーター教授 述　金成増彦 譯

三

これよりヂグラー周波に就いて述べん、ヂグラー氏は曰く『不景氣の原因は景氣である』と寔に至言である、近世に於て景氣の時には社會は幸福であり反對に不景氣の時には社會は不幸也と考へた、不景氣には賣行が減じ破産者が續出し一方大衆は失業者を出し又收入が減ずるから然し、更に精細に點檢すれば實業全体に就いてはそれ程縮少しては居ない唯著しい縮少を受けるのは重要工業である而して一面に於ては價格が低下して社會の大多數が利益を受けると言ふ事もある

蓋し景氣の時には經濟均衡の破壞が起りそれが爲に不景氣が誘導せられると言ふ事も出來る。卽ち景氣の時は事業が異常に膨張せられそれが不景氣の時に立ち歸るのである、それで若し經濟活動が圓滑に推移せぬ所以を說明する事が出來れば同時に景氣不景氣の原因に就いて說明出來た事になる

この原因は遠きに求むるを要せず經濟進歩それ自身の中に在る、蓋し經濟活動は三種の原因に仍りて影響を受ける、第一は經濟以外の原因である、第二は徐に不絕起る變化である、例へば人口の増加の如きは均衡を破る然しそれは不絕增加するので一時黠をとつて見れば著しき變化があるわけに非ず第三は經濟界の均衡を破る事象である。それは所謂進歩と呼ぶものである、これは生産技術又は生産組織の變更にして經濟生活を根本的に變更せしむるものである、その著しきは一八世紀に於て紡績機械の發明近世に於て自動車の流行の如き又ブラジル護模がジアバやマレー島産の護模に仍つて代へられるや需要が一變せし如きものである、卽ち或る斬新な事業が起るやそれに仍つて經濟界は活氣を呈するのである

玆に至つて如斯革新が何故に繼續的に行はれぬか又何故にこれ等の者は均衡を破る原因となるかと言ふ疑問が出來て來る。これに對し一例を引くならば一九〇四年以前には何人も自動車が大衆の實用に供せられると考へた者は無かつたろう、何人も百萬臺の自動車が一ヶ年に賣れると考へた者は無かつたろう。然し唯一人ホード氏は知つて居た彼は自動車を非常なる安價にて社會に提供すべく目錄んだ、彼は始は競爭者もなく獨り舞臺で販賣した、それで世界に於ける富豪の一人になつた、然し次第にホード氏と同じ樣な事をする人間が出て來た、それで米伊、獨、佛、英にも競爭者が出て安い自動車が澤山製造せられるに至つた、彼等の一人の成功者に倣つて同樣の仕事を始めたのである、卽ちここに新事業は勃興して來る、國人は直接關接に自分の收入の一五%をこの自動車の爲に消費するに至つた、これが卽ち經濟生活の變革にしてこの事に仍つて景氣及不景氣とは如何なるものかと言ふ事を知り得る

新事業を爲す事は困難である、未だ何人に仍つても經驗されぬ危險が含まれて居るから！、而も十人中九人迄は失敗する、然し若し一人の成功者が出れば群衆はその成功者に追從する、而してこの種事業は大擴張が行はれる。例へば自動車電氣の應用、近世工業の發達又前世紀に於ては鐵道事業に於ける如き皆この好適例である、歷史を硏究すれば何人も知る如く景氣に向ふ時は必ず新事業が勃興する、新事業が勃興すればそこに景氣が誘導せられ景氣は不景氣を招來する、然しこの機構を說明するには更に歩を進めて經濟界の信用制度を觀察する必要がある譯者曰く信用制度に就ては後の機會に讓つて一先ず擱筆せん

時代警句（漱石）

○驚くうちは樂がある。女は樂みが多くて仕合せだ……（虞美人草）

○文明の彼女は人を馬鹿にするを第一義とする。人に馬鹿にされるのを死に優る不面目と思ふ……（同）

○女が偉くなると獨身ものが澤山出來て來るだから社會の原則は獨身者が出來得ない程度内に於て女が偉くならなくちや駄目だ……（三四郎）

高山國の歌（二）

島田忠夫

高原にテントを張りし人居りて夕炊ぎする匂ひこそすれ

白樺の幹の白きが目に立てる夕暗ふかき原を行きつゝ

郭公の聲を親しく聞き來しが昏れたる原に聲やみにけり

ひさ方の天の星ゐる木の梢に羽ばたき下るは夜鷹にあらし

山河の音のさやけき夜ふけてコンビーフ切り夕餉食すかも

乏しき火を守りつつ夕寒しテントの外に低き天の河

拈華微笑

◇目錄や親類書きを持ち寄つて町村緣組の評定。旨く纒るか知ら
◇廢止直前に早植獎勵。死ぬ迄喇叭を放さなかつた某兵士の類乎
◇小名濱頭の蒼波に映ずる機影。壯快な初夏の景物ではある
◇街頭の客曳き御法度。お蔭で安心して初夏の宵を漫歩出來る
◇みつ豆。ところ天。リヤカーのアイス屋。街は悉皆夏景色
○……○

一日一禪

○
蝸牛角上爭何事
石火光中寄此身

隈畔行（米澤より）

古川信一

路幅の　挾き街あり
家低き　大通りあり
古臭き　小箱の如き
赤電車　曲れる角の
名を知らぬ　間口の廣き
呉服屋の　陳列棚の
安銘仙　柄をよしとし
君欲しぬ　此の衣にし
身に着けば　何もいらずと
ツヰンドを　君は去らねど
金なくば　買ひて與へず
追ふ如く　公園に來て
黄昏の　ベンチに倚れば
見も知らぬ　街の悲しさ
人知れず　涙ながれぬ
灯ともれる　置賜町や
何町と　狹き小路の
幾曲り　町はづれにし
みちのくの　阿武隈川の
水荒き　岸邊に立ちぬ
夕もやは　次第に深かし
飯坂は　いづこの邊り
風寒く　河音高し
我言はず　君も默せり

6月10日

△京畿の佛像の私造を禁す（延曆二）△人情本の出版を發賣禁止（天保一三）△拓務省新設（昭和四）△日佛條約成る（明治四〇）△徳川光圀生る（寛永五）△大江廣元歿す、賴朝の政務概ね此の人の籌略より出ず（嘉祿元）△スタンレー生る 有名なる阿弗利加探檢家此地に於ける英國の勢力彼の力に負ふ處なり（紀一、八四〇）

講談 元祿名妓傳

小邑井小巴演　（宮野恒彥畫）

九十三席

『お房が正氣に返り龍神丸と聞いてふるえ上つて驚くのは無理もない、龍神丸では無男の鍋島益千代のため一生拔くべからざる心の疵を負はされた、盛りの花もパツと飛散つて終つたのだ善兵衛はそんなことは知らない、善『お孃樣お驚きなさることが何でありますか、阿方がこがれて家を捨て親を捨てゝ家出なさつたその鍋島の若樣が此船に乗つてに出でなさいます、今は何か御用があつて此方へはお出でなさいませぬが、直に此の善兵衛が阿方の正氣づいたことをお知らせ申し喜んで頂いたり、此方へも來て頂きます、モウ御心配なさいますな』善兵衛嬉し喜んで立上らうとすると。房『あゝ善兵衛お待ちよ、待つてお呉れ』善『ハイ〳〵お知らせするのを待つのでございますか、夫れはもう此のお姿を旦那にお目に掛けるのはお恥かしいでございませう、旦那樣も正き付いたら、女は女のたしなみと是れ此の通りきやう臺から油元結、くしやらかうがひやら、帶も衣類も皆出てございます、お髮を結ひなさるならば其處に道具があるがまだ正き付いたゞけでお身體が自由に、おなりなさいますまい、何の〳〵萬事往渡つた旦那樣其の遠慮には及びますまい』と善兵衛は見當の違つたことを云つてゐる 房『イエ然うでは無いのですよ、マア靜かにして私の尋ねることを話して下さい、善兵衛もツト此方へ寄つて……』善『ハイ〳〵』お聽きになることがあるので、ハイ〳〵』房『私は何だか夢を見てゐるやうな心で、海へ飛込んだは知つて居るが、其鍋島益千代と云ふお方は最う〳〵私は嫌ひになつた、側へも來て貰ひ度くない、何で生き返つたのか私は死ぬのが望みだ、善兵衛お前のお情で、どうか私を殺して下さい、賴みます、願ひます』とワツとそれへ泣き伏した 善『トツ途方もない何んでまあれ程こがれてお出でになつた鍋島の若樣を、今になつてお嫌ひなさいますか善兵衛には一向譯が分りませぬ、其仔細を言つて下さい』善『ナニ私は本當の鍋島樣を嫌になつたのではない、實は是ゝ斯う〳〵、龍神丸に乗つて鍋島益千代と云ふのは人違ひ、夫がため身を投げた譯と委細のことを物語つたから、善兵衛も仰天し 善『ヘエー夫れはどうも飛んだ譯なれど此船の益千代樣は正眞正名の若樣、隅田川のお花見の戻りに阿方を助けた人其人に相違なく、阿方の仰しやる益千代と云ふのは夫れはニセ者でございます、本當の若樣に助けられたも緣の深いこと決して御心配なさいますな』と聞いてお房は飛立つ程の喜び、こゝで二三日養生手當を致すうちに、根からの病氣ではない、水におぼれたと云ふ一時の現象に過ぎないのだから、身體はドシ〳〵恢復して參ります、前申上る通り女の小道具は總て調つてゐる、身體が良くなるに連れて此處は女だ忽ち髮も取上ればおしろいの一ツも付ける深窓に育つたお房だが、昔のものは却々つゝましやかでございます、當今のお孃樣方でも束髮だと自分で結ぶ方もありますが、最うしてふ返しと云つたやうな、日本髮になると一々髮結の御厄介だ、まして島田はむづかしい、自分で結ふなんと云ふことは出來ませんが、昔は幾ら深窓に育つた方でも島田は結構に自分で取上げられる髮を結ひ衣類を着替えると女も一段よくなる、善兵衛は早く益千代の鳴右衛門にお房の姿を見せたいと思ふが、一ツ船にありながらどうした譯か、夫以來お房の居るところへ鳴右衛門顏も出しませぬ、お房も能く〳〵考へて見ると、自分は怪物益千代のために無理からとは云へ、肌身の汚された身の上、戀しなつかしと思ふ其人に逢つた迚今更何で馴れ〳〵しく出來やうと、それを考へては生きた空はございません。

ラヂオ

十日（水曜）

仙臺 JOHK

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△八、四〇A 經濟市況
△九、〇〇 氣象通報
△九、〇五 經濟市況
△九、一〇 ローカル 料理献立（一、若布と獨活の白味噌和へ 二、筍の炒り煮）辰木ナカ 日用品値段（ガラス器具るい）
△九、三〇A 經濟市況
△一〇、三〇 ローカル 家庭講座（時の記念日に就て）仙臺市長社會課長本田甚平
△一〇、五七A 經濟市況
△一一、四〇 經濟市況
△正午 時報
△後〇、〇五A 俚謠（博多節…米山甚句…越後追分…小原節…まこと節…中山節）
△〇、四〇A ニユース 氣象通報 告知事項
△一、〇〇A 經濟市況
△一、五〇 同上
△二、〇〇A 家庭大學講座（論理學）早大教授中桐確太郎
△二、三〇A 經濟市況
△二、五〇 六、〇〇A 運動競技（春季六大學野球リーグ戰試合狀況）
△三、四〇A 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△四、〇〇A 全國ニユース 河北新報社ニユース
△五、三〇A 經濟市況
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇 ローカル（子供の時間）仙臺放送局放送開始三週年記念（東北六縣代表兒童獨唱會）『一』
△六、三〇A 英語講座（初等科）岡倉由三郎
△七、〇〇A 全國ニユース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、三〇 ローカル 副業講座（養鷄生産物の生産より販賣に至る迄の話）養鷄組合中央會技師袴塚禎二
△八、〇〇 ローカル 浪花節（矢頭右門七の誠忠）吉田佐渡
△八、〇〇 ローカル ハーモニカ合奏
△九、〇〇A ラヂオドラマ（凱旋將軍）池田大吾作
△九、四〇A 時報 全國ニユース 氣象通報、番組豫告 告知事項

特別興行プログラム

六月九。十日（二日間特別短期公開）ヤマニ洋行提供

世界橫斷　冒險實寫

食人種と交歡横斷

（ザンバを）提供せるマーチンジヨンソン夫妻は再び人足未到のアフリカ奥地に進み始めて人肉を喰ふ喰人種に出合ひ生首の燻製を見る。そして十年一度の猛獸大移住を目撃しあらゆる危險の中に實寫せるもの

◇西部の大戰と母性愛の最高唱抒情大詩　佛國政府後援◇

戰禍と受難　西部大戰線　母性愛と試練

番外 日活作品 探偵劇 妖怪無電 全

料金普通 金二十錢 此名此料金 平館

診察時間繰上
◎受付 午前七時より
◎宅診 午前八時より
但し急患者は此限りに非ず
內科一般 難波醫院
醫學博士 難波陸
平町新川端（釜屋新宅向）電話五〇二番
（入院需に應ず自炊の便あり）

（共濟病院）輕費診療開始
郡內卅四ケ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始す
◎診療科目 內科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 產婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科
◎診察料 共濟會員 無料 輕費診療 五十錢
◎藥價 一日分一種 共濟會員 十錢 輕費診療 十五錢
◎入院料 一日分 共濟會員 輕費診療 一圓以上
◎公休日 公休日ハ廢シマシタ
尚御不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ
磐城 共濟會 電話六四一番

貸切は● 親しみあるサービスを以つて知られたる！
尼子タクシーへ 電六四〇番
主任 澤正路

專門 一般內科
內科ハ何デモ診療致シマス 呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五（電話一八一番）
川井內科診療所 醫學士 川井重之 女醫 川井安子

有給 外務社員採用
經驗有無を不問奮鬪の士數名至急採用す。希望者は履歷書持參午前十時迄御來所を乞ふ。
福島縣平町六間門一六（營林署前）
三井生命保險株式會社 平出張所 小坂榮次郎

更衣 霜降通學服安賣
小學生用 35錢より
中學生用 170錢より
モリタヤ洋品店 5丁目 電353

特約部
ラヂウム溫灸治療器
廿餘名博士 五十餘名醫大家 推奬（胃腸病、婦人病必治法）
定價 特大 拾參圓 特小 拾圓
平町五丁目廿八 志賀齒科醫院
平町白銀町九 產婆 關口悅子

石城郡町村長支會で 併合斷行の得失研究
近く調査材料を持ち寄つて 眞劍に此際の善處策を練る

石城郡町村長支會總會は昨報の如く昨八日午前九時から平町各種團体事務所樓上で開催午前中縣代議員の改選をなし午後より町村財政の應急對策、稅制、四倉漁港促進、町村併合問題等を研究審議したが四倉漁港は四倉町議中より三名及勿來、小名濱、大野各村長を實行委員に擧げ農省當局に陳情すべく近日中上京することに決定した尙町村併合問題は抽象的の懇談に止まり何等具体化したものなかつたが各町村長の見解としては之に依つて事務の簡捷と經費の節約と共間に生ずる利便は尠くはないが現在郡下の町村中財政方面其他併合に依る利害の均衡を欠いてゐる關係上之を實行するのは當分不可能ではあるまいかと云ふにあるが町村財政逼迫の昨今まさに緊急を要する問題なので出來得る限り早急に諸般の審議調査を重ねた上近く更に町村長會を開催し調査事項を持寄り協議を進める事となつた

各濱に漂ひ初めた 夏を待つ氣分
四倉も小名濱も 貸間代は若干値下げか

今年も愈々灼熱の夏が目前に迫り海の世界が展開されるのがま近くなつて來たので小名濱四倉などの海水浴場ではそろ〱客の吸收策に就て考案を廻らし始めた模樣であるが例年家族的な逗留客に間貸しをして短期間ボロい儲けをして來た皆當て込みの家でも今年は免れ難い不況の餘波として人の入り込み方も從來程には行かず隨つて間貸しの料金も若干の値下げを餘儀なくさるるでは無いかと觀測してゐるらしい。が安くては貸せぬと高く納まり返つては居られぬ時節柄なので家屋內外の小破修繕やら疊替えやら昨今の海岸町には漸く夏を迎へる氣分が漂ひ初めた樣である

挿秧季に入つて 指導側氣を揉む
多收獲の早植を怠る 無頓着な地方農家

多收獲を目的とする稻の早植は郡農會其他が聲を大にして宣傳に努めつゝあるがその主旨が容易に徹底せず今年もそろ〱植付期に入つて居り乍ら磐崎村の一部を除きては未だ着手せぬ町村が多いので關係筋では相當氣を揉んで居るが稻早期植付の利便とするところは分蘖が盛んになつて收量多く而も品質優良で美味なる等の諸點であると

看護婦合格
平署管內關係者

四五月中行はれた茨城、山形、宮城各縣に於ける看護婦試驗に合格した平署管內の受驗者左の如し

宮川トミヨ、鈴木ハル、渡邊千代、神野はる、村上フク、小松キク、安田タケ、鈴木ハナ、加藤千代枝、文屋みや子、綠川ハルノ

神谷消防異動
神谷

消防組では組頭木村幸雄氏の滿期退任による補欠選擧を行つた結果組頭代理宇佐美直保氏同代理に草野多四郎氏が當選した

戶數割査定
平町で委員會

平町戶數割調査委員會は十五日より三日間町役場會議室で開催する筈

繩拔けの名人 『ハヤブサの末』捕はる
追跡して捻ぢ伏せた 平署奥村巡査の大手柄

當時住所不定無職三坂村中三坂賭博前科三犯根本末治(五八)は其筋で起訴中のもので平署では之れ迄前後三回に亘り潜伏中を引捕へ護送の途中その都度巧に繩拔けをやり行衛を晦ましてゐたので嚴重搜査中昨八日午後三時頃平町仲間町方部に戶籍調査に行つた平署奥村巡査に偶然發見されそれと感付くや脫兎の如く逃走せんとしたが五丁餘追跡し大格鬪の上逮捕したが末治は隼の末と異名ある太か者であると

通行人を惱ます 街頭進出を嚴禁
酌婦の客曳制限に就て 樫村署長から嚴重示達

平町南町裏通り邊に巢をくふ酌婦の露骨にして執拗な客曳き振りは風俗を紊す事甚だしいので前荒井署長時代に於て張り店の接見が出來ぬ樣に設備された上街頭進出を嚴禁したため一時餘程下火になつた樣に見へたが最近再た復た緬が緩み出して來たので昨八日樫村署長から關係營業者に對して今後の違反行為は假借なく處罰する旨を示達した

感電 作業中のセメント職工 生命危篤に陷る

四倉町磐城セメント會社職工高橋勘太郎(四二)は去る八日午前七時頃同工場內に於て作業中誤つて感電重傷を負ひ木村病院に入院加療中であるが中々の重態である

○○○○○○○○
高久村豫防委員 高久村では傳染病豫防委員として本間武、箱崎平右衛門の二氏を擧げた

○○○○○
高久課稅村會 高久村會は明十日午前九時から開催し本年度村稅賦課額その他を審議すると

投稿歡迎 寄書欄
米價安禮讃

◇農家では朝三四時に床を蹴つて朝飯前に一仕事をして歸る、それから朝飯を喰つて又野良へ出て朝小昼飯といふのを喰つて晝食を喰つて小昼飯といふのを喰ふ結局晩飯までに五度は喰ふ、日が長い頂上であつて見れば夜明けから暗くなるまで働きつゞけるものには五度が六度でも喰はなければ働けるものでない

◇但しそれは他人のことで田舍住ひはしてゐても耕作に用のない吾々は何もそんな心配はないわけだが、村の大部分が農家であるだけ農繁期の農桑休業でうちの子供も學校が休みになつた

◇無論休み中うちの仕事を手傳はせる用もないから自由に遊ばせて置く伜は今年十三になつてゐる六年生仲々元氣がいゝ朝自分だちが寢巧をしてゐやうものなら彼自身が起きて火を起し夕べの殘りの飯を一人で平げてゐる

◇それから朝飯の仕度が出來て吾々が膳につくと無論一人前のおつき合ひをする、それが濟むとすぐ小遣ひをせびつて何處かへ出て行く、暫く經つと歸つて來て戶棚をあけたり臺所を探したりして又したゝか飯をかなぐりつけて出て行く

◇飯さへ切らさずに置けば至極簡單に濟む、喰つてゐる所をだまつて見てゐると全靈を飯を喰ふ事に打込んでゐるかのやうにまるで夢中である、愉快な光景だ

◇不景氣も己むを得ない繭の安いのも仕方がないとして俺は只伜のほゝゑましい發育振りを見るにつけても太陽の光りと米の安い事にしみじみ感謝する（鹿島鱈腸擊弁生）

延三十機が參加して 壯快な空の戰ひ
十日から五日間小名濱海岸で 所澤陸軍飛行學校の航空演習

所澤陸軍飛行學校の航空演習は明十日より十四日迄五日間に亘り小名濱海岸に於て行はるゝ事となり同校敎官近藤少佐川原中尉外職工其他總員二十五名の先發隊一行は同町新米旅館其他に分宿目下準備を急いでゐるが演習參加機は一日六臺宛で內四臺が毎日學校に歸還交代し二臺宛を海岸に止め置くので同町軍人分會員が出動之れが警備に當る筈であると、因に同校長荒蒔義勝中將も來濱する事になつてゐると

潜り運轉手 電柱を擢く
小名濱町瀧口

小名濱町瀧口自動車店方運轉手草野村下神谷生れ高岡三郎(二四)は今九日午前九時頃無免許でトラツクを運轉操縱し江名町大字江名地內を疾走中カーブを曲り損ねて電柱に衝突顚覆したが電柱を折つた丈で人畜に支障はなかつたと

救はれた借金の 返濟を怠り訴へらる
內鄕馬目酒店の雇人

內鄕村竹ノ內馬目酒店方雇人安齋龍之助(三二)は昨年中東京市南豐島郡瀧野川で酒店を開業したが其後娘が病氣に罹つた爲困窮に陷つたのを隣家なる市電從業員薄葉庄一郎(四〇)が同情し自己の共濟積立金三百圓を融通貸與したが其後九十圓を返濟したのみで夜逃げ同樣內鄕村に舞ひ戾り薄葉から再三殘金の請求を受けながら一向支拂ふ氣色がないからと今九日薄葉から平署へ告訴に及んだ

平町新風景
ミ惑の初夏に
呪はしいクレヂツト…… 料理屋藝者屋受難の巻

花の春。月の秋。勿論情調のシーズンですが昨今の初夏も却々味ふべく掬すべき風情があります。ムッチリ盛り上つた乳房の邊りシークなセルに包まれて柔かい曲線——なんと溜らない魅惑的なんでせう。女の美しく見える初夏。目に青葉山郭公初松魚の昨今はまた女性禮讃の季節であります。

〇

平町の美形大小約百名。それに南町の闇に咲く花。之等職業婦人の生活內容と一脈相通ずるものある女給なんどを一切合さい集めたなら物の二百名もありませうか其の連中が『シークなセルに包まれた柔い曲線美!』のオンパレードと來る。世の中の男と云はるる程のものが其等を相手に一寸情調を味はつて見度くなるのは寧ろ當り前なんです。

〇

『近頃一寸も……ヒードーイーワ』時しも倩たる巧笑盼たる美目で恁麼モーションをかけられて御覧なんしよ。男兒の鐵腸忽然としてトロロ見たいになつちまうんです。お陰でお茶を引かずに濟むといふ事になるんだが例のクレヂツトで困るんです。肝腎なお勘定がですよ。

〇

第一お茶屋に對して極りが惡いんですよ。と前提して新田町仲間でも幅を利かせてゐるなにがし中年增は泌々と述懷するのでした。——つい此間〇〇亭へ聘ばれた。顏見知りのお客であり氏素性もわかつてゐるので安心して翌くる朝迄置いて貰つたは良いが『その特別お祝儀がクレヂットなんだから遣り切れないんぢやないの』成る程之れでは氣の毒の至りと云はなければなりません。

〇

また或る料理屋の主人は愚痴ました。『わたし共でもお客樣によつてはクレヂットを設定せぬでもありませんが大抵その信用程度がお話しになりませんのでしてねえ』去年の燕は歸つて來ましたがおとゝしのお勘定がわからないと云ふ有樣。クレヂットに惱ませらるる平町の料理屋——藝者——。

平館出張興行
平館

平館では十日十一日兩日四倉座に於て新時代に生きる、劍道見せ物師、女狼を上映すると

遠藤助役の 弔慰金決定
總額千四十圓

遠藤助役の死去に就て町は今九日町會を召集協議の結果一時給與金二百四十圓町給與金五百圓、水道部長として三百圓計千四十圓を贈る事に決定した

發作的逆上の 鐵道往生と判明
四倉の轢死男は 大浦村農家の伜

昨報去七日四倉驛南方仁井田地內に於て鐵道自殺を遂げた男の身元は其後取調べの結果大浦村大字下仁井田字筒向鈴木豐三郎二男重三郎(三二)と判明したが家庭の事情其他同人には鐵道往生をせねばならぬ樣な事情も無く恐らく發作的に精神異狀を來しての飛び込みと觀られてゐる、尙ほ同人の實兄豐一は二年前平驛の連結手として勤務中誤つて胴体を轢斷され非業の死を遂げたものであると

新磐府叱談

◇會社をひいてから文字通り悠々自適、白雲去來の閑日月を持餘し乍ら到る處で快而して怪、氣焰を吐き廻つてる武田デン氣君(會社は廢めてもゐたまは依然電氣なり)◇最近さる知人宅を訪ねた處そこの主人は初めから頻りに生來保險が大嫌ひな事を山鳥の尾の長々しく説明に及ぶので何が何だが薩張りわからずに引上げたが後日或る人の話で例の鰐革の折鞄に祟られた事が判明した◇と云ふのは。その日も例の鞄を持參に及んだので之れより先どこから誤り傳へられたものか『武田さんは今度保險の方をやんだつちいよ』てな事を聽き込んでゐたそこの主人。適切り保險勸誘の御入來と早呑込みをしたもんだ◇そこで懇意な中でもありテッペンから斷るわけにも行かずジワ〱と豫防線を張つた次第。『それ以來斷然あれを持つて步かない事にした』と好漢武田君かんら〱と大笑ひ

平町人事

△出生 久保町二三大浦村大森高野八一片寄末藏四男留男

△婚姻 擢槌小路玉川村島三六鈴木一(三二)立町八五橋ハナ(三三)

△死亡 白銀町一一茨城縣久慈郡豐田村馬場五三一小泉源四郎(六三)南町五九永山榮松(七二)長橋町一九茨城縣多賀郡助川町助川一五三八猪狩シケ(七五)

早慶野球戰勝敗豫想投票募集

スポーツ日本の最大痛快事たる早慶戰は來十三日十四日の目睫に迫りました。弊店は親愛なる我が野球フアン諸君の爲百パーセントの興味を唆るべく左記により勝敗の豫想を募ります。

一、用紙書式　官製ハガキ
第一回戰　何校の勝
第二回戰　何校の勝
第三回戰　(になりたる場合)優勝校名
一、宛名　平町田町　磐城新聞社
一、〆切　六月十三日一便配達迄
一、當選發表　決勝戰終了翌々日　磐城新聞紙上
一、賞品　一等、二等、三等、置時計、萬年筆、蓄音器レコード

正解者多數の場合は抽籤を以て定む

主催 大谷時計病院 平町三丁目(電十九番)
後援 磐城新聞社

平町助役遠藤長誠儀病氣ノ處本日午前四時死亡仕候此段謹告候也
追而十日午後二時半自宅出棺同三時平町性源寺ニ於テ告別式相營ミ可申候
昭和六年六月八日
男 遠藤一誠
親戚 遠藤誠道
總代 橋本文壽
友人總代 伏見彥衛

辯護士開業御挨拶

私儀平檢事局檢事在職中は公私共多大の御厚情を蒙り奉深謝候今回官職を辭し左記箇所に於て辯護士開業し叮嚀且懇切に一般法律事務の御相談に應ずべく候間從前通り御引立に預り度く乍略儀以紙上奉懇願候

昭和六年六月
平町字擢槌小路一番地(色川材木店東隣)
辯護士 正五位勳四等 武田淸次郎 (前平檢事局檢事)
電話六三九番

明日は時の記念日
時……時……
時は金なり正確に
六月十日開業一週年記念！
修繕料 金側時計 クローム腕時計 金四十錢 ガラス入 五錢
秋山時計店 平驛前

內科、小兒科、花柳病科 入院應需
藤沼醫院 平町紺屋町 電話平長五〇七番